

# 第7回 市民公開講座

がんを知ろう！  
早期発見から治療まで

## 『難治性がんへの挑戦 ～肝胆膵外科を中心に～』

小田原市立病院 外科担当部長  
肝胆膵外科学会高度技能指導医 牧野裕庸

# 難治性がんとは

---

がんは様々な臓器にでき、その部位により悪性度は様々である。  
特に肝胆膵領域に発生するがんは予後の悪い疾患が多い。

なぜ、予後が悪い(難治性なのか?)

- 1.根治切除が行われてもすぐに再発する・・・悪性度が高い  
膵臓がん・肝臓がんなど
- 2.局所進行・・・接する他の臓器への浸潤してしまいとれなくなる  
膵臓がん・胆管がん・食道がんなど
- 3.遠隔転移・・・とりきるできない(StageIV)  
転移性肝がん・転移性肺がんなど

# 集学的治療(様々な治療を組み合わせる)

## 1. まず、正確な診断(治療方針の決定)

- 1) 造影CT・・・局所(微小病変も含む)・周囲・遠隔すべて把握  
(造影が重要となる疾患がある)
- 2) MRI・・・局所の進展状況を詳細に把握
- 3) 3D(Vincent)・・・現実に近い解剖把握，体積の測定も可能.

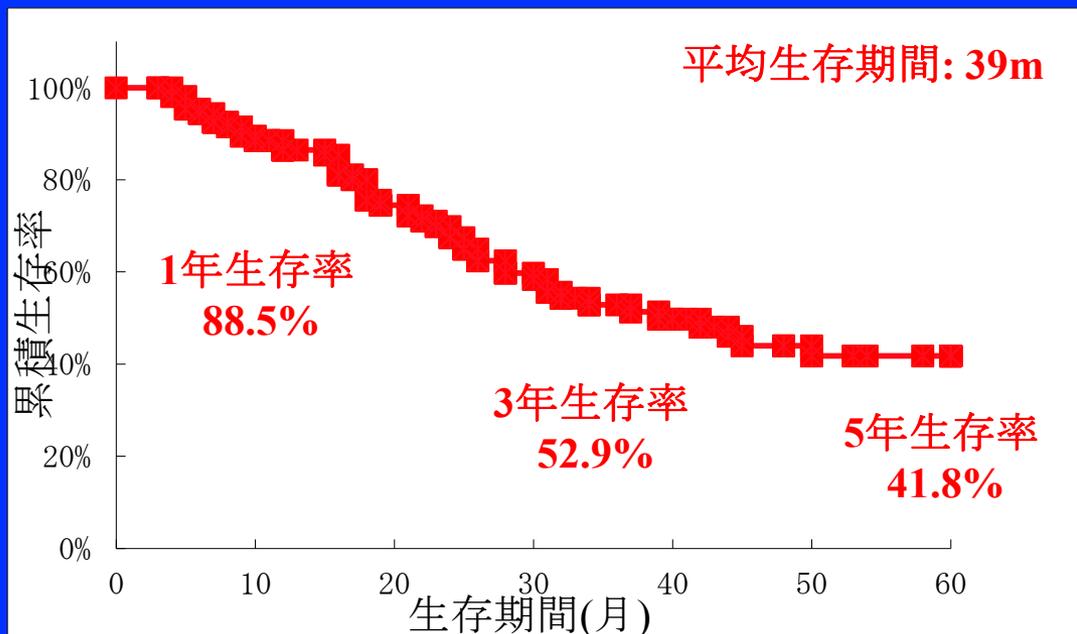
## 2. 手術の工夫(安全性の向上)

- 1)術前準備・・・血管塞栓術など(切除可能に)
- 2)術中操作・・・血行遮断など(出血を減らす)
- 3)術式の選択・・・二期的肝切除(ALPPS手術)など

## 3. 術前・術後治療(根治性・予後の向上)

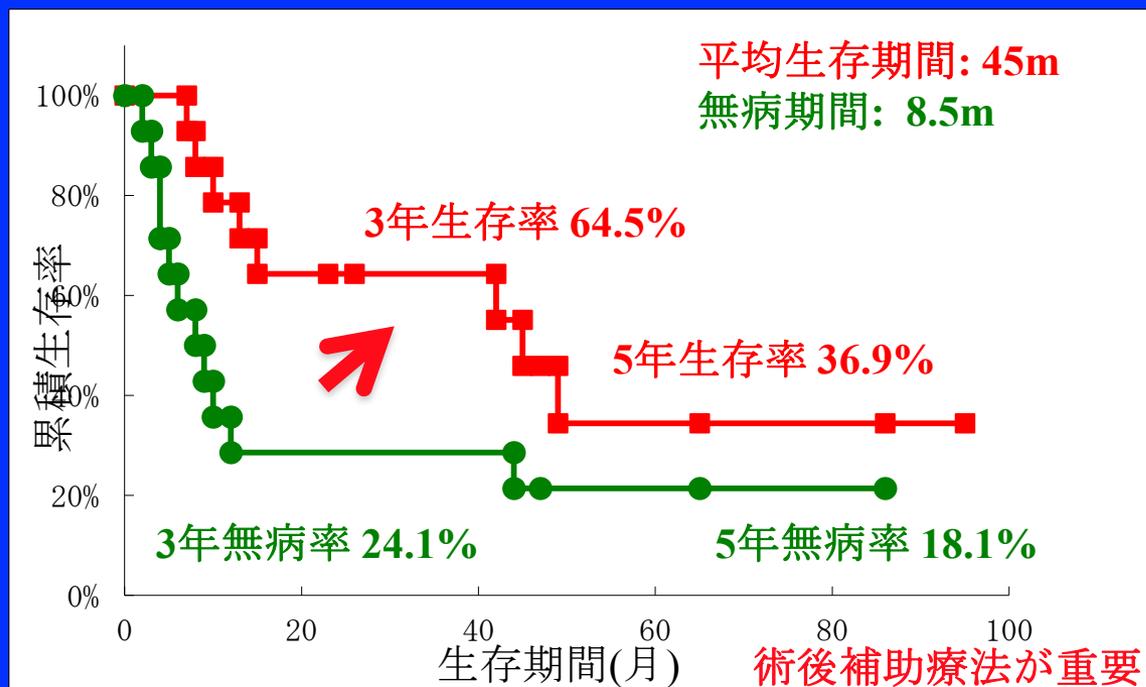
- 1)再発部位の再切除・・・積極的治療
- 2)化学療法の使用法  
  - ①腫瘍を小さくし根治性を向上 (**borderline resectable**)
  - ②切除不能から切除可能に(**down stage**)
  - ③再発を減らす・遅らす(術後補助化学療法)

# 大腸がん肝転移(StageIV)切除後の治療成績(当院)



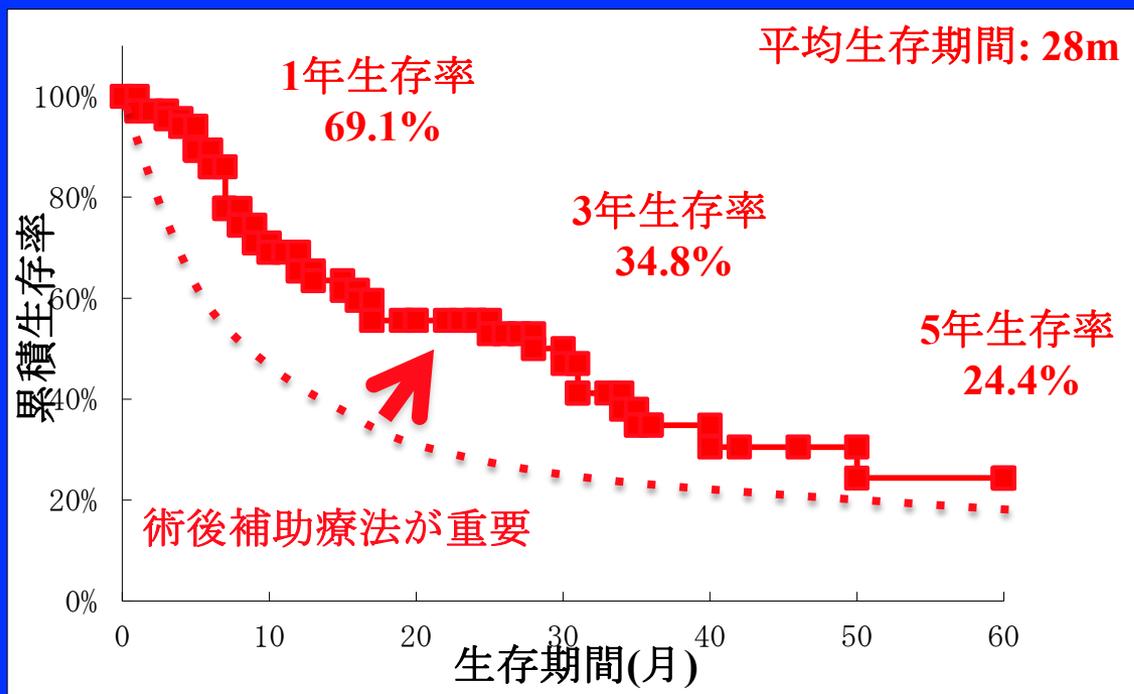
- 1) がん診療ガイドラインでは、肝転移がある大腸癌は切除可能であれば切除適応とされている。
- 2) 切除を行うことで5年生存率は30~50%えられると報告されている。
- 3) 当院では、大腸癌肝転移手術患者さんでの手術関連死は無く、治療成績も同等な結果が得られている。

# 胃癌肝転移(StageIV)切除後の治療成績(当院)



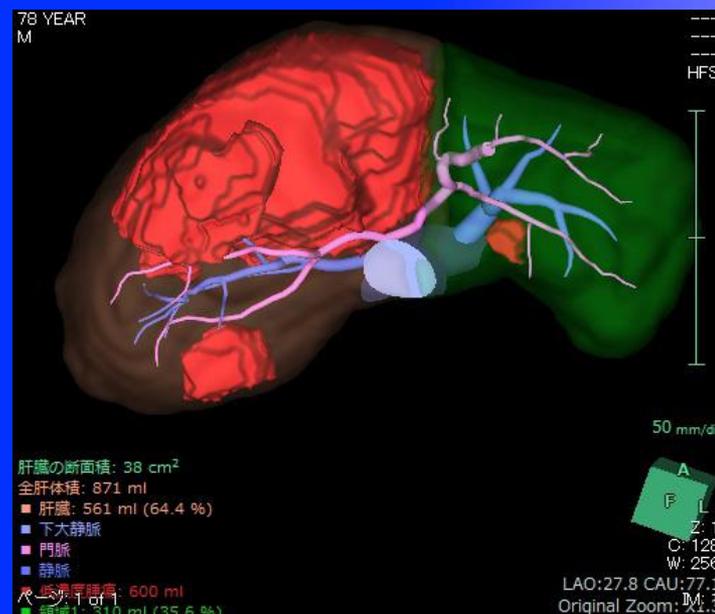
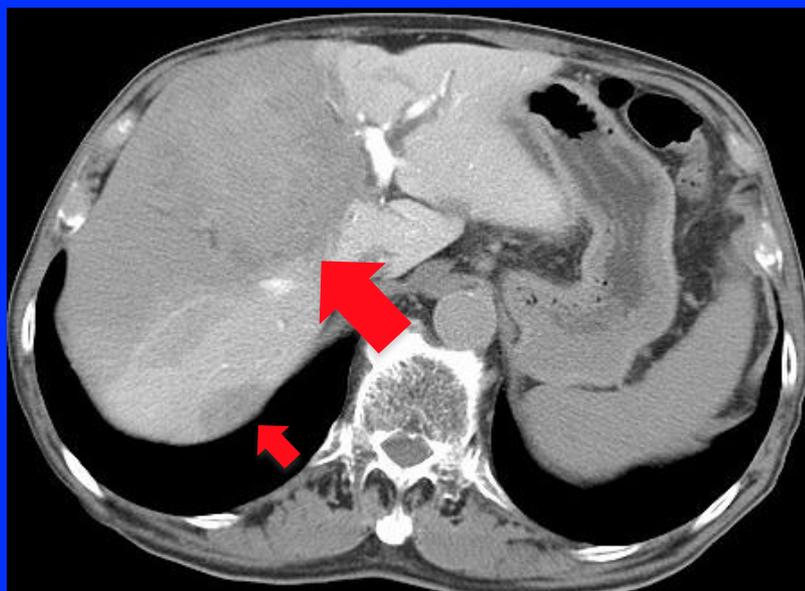
- 1) がん診療ガイドラインでは、肝転移がある胃癌は手術適応外とされている。
- 2) 当院では、大腸癌同様に切除適応としている。
- 3) 術後早期から集学的治療(手術+化学療法)を行うことで、生存率の向上が得られている。

# 膵臓癌切除後の治療成績(当院)



- 1) 周囲臓器に浸潤・他臓器に転移しやすく悪性度が高い，症状が出ないことが多い，検査で発見しにくい，ため予後不良。
- 2) StaggIAでも5年生存率は54.1%，化学療法のみでの3年生存は厳しく，切除例でも早期再発が多い。
- 3) 集学的治療を行うことで予後の改善の延長や改善がみられる。
- 4) 2013年12月より新規化学療法が承認となり、予後の改善が期待される。

# 大腸がん肝転移(StageIV)の1例(当院)



患者：78歳 男性

現病歴：2008年6月他院にて大腸癌・多発肝転移の診断で結腸切除。

2008年6月～11月まで化学療法を施行。

2009年3月 **癌末期治療** 目的に当科紹介。

当院施行のCTにて切除可能と判断。

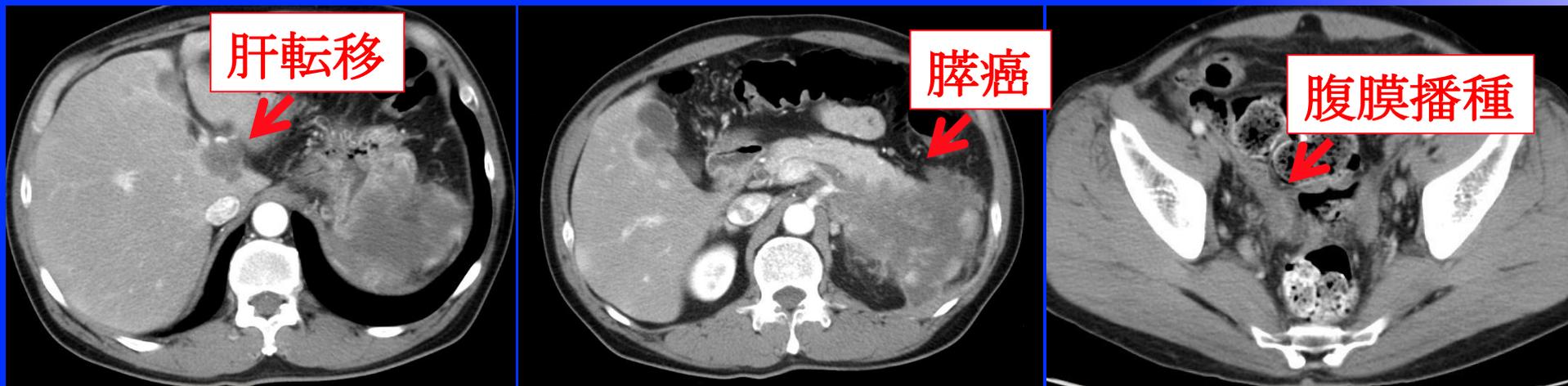
治療経過：2009年3月手術施行。 **(肝切除①)** 術後合併症無く退院。

化学療法は希望されず、外来通院にて経過観察。

2011年4月残肝再発を認め手術施行。 **(肝切除②)**

2015年12月(84歳)まで当院通院。初診時から **6年9ヶ月** 無再発生存した。

# 膵臓癌肝転移腹膜播種(StageIV)の1例(当院)



患者：55歳 男性

現病歴：2013年12月心窩部痛を主訴に近医受診し当科紹介。

CTにて膵癌・脾臓副腎胃浸潤・肝転移・腹膜播種にて切除不能と診断。

治療経過：

2013年12月(初診から7日目)化学療法開始。

2014年1月～7月新規化学療法(FOLFIRINOX療法)に変更。

2014年6月腫瘍マーカーの著明な減少，CTでの転移部位の消失(Down-staging)

2014年7月血管合併切除準備のため、動脈塞栓術(血行改変)を施行。

2014年8月手術施行(根治手術)。

2014年8月(術後14日目)術後合併症無く，補助化学療法を開始。

2016年7月術後2年まで化学療法を変更しながら，長期に継続。

2016年10月初診時から2年9ヶ月，無再発生存中。

# 難治性癌への挑戦

1. 迅速・正確な診断 (迅速・正確な判断力)
2. 迅速な治療方針の決定と治療開始 (大胆な決断力)
3. 最適な手術時期の決定 (緻密な計画)
4. 化学療法の種類・継続期間・変更の決定 (繊細な情報処理)
5. 根治性の高い、かつ安全な手術手技 (高度な技術)
6. 術後合併症管理 (慎重な術後管理)
7. 早期の術後補助化学療法の開始 (冷静な状況把握)
8. 積極的な治療(再切除・化学療法)の継続 (勇気ある選択)
9. 最新情報の入手 (貪欲な好奇心)
10. 最後は情熱。(治したい・長生きして欲しい、可能性を信じる、とにかくあきらめない。)